

様式第23号（第5条関係）

令和 6 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市大島中1839-6
協議会名	大島まちづくり協議会
協議会長名	会長 浅野ツヤ子

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）
変更申請書（兼）実績報告書

令和 5 年 4 月 1 日付け笠岡市指令協第 328 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

1 変更交付申請額 864,493 円
(交付金決算額)

[内訳]

(単位：円)

交付決定額 ①	変更交付申請額（交付金決算額）		返還額 ④
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③	
997,597	864,493	0	133,104

2 交付金が減額変更になった理由

HP大島ぶらりガイドの動画紹介を経費削減の為、外部を利用しないで行った事と、残念ながらウォーキングが出来なかった為。

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第24号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書
(様式第25号又は様式第25号の1)
- (3) 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

様式第24号（第5条関係）

令和5年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 大島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	”大島再発見”子どもたちに伝えたい大島の文化財と自然景観
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	大島の文化財資源・観光資源を守り、後世に残してゆく。
【効果】	地域の人々の新しい発見と先人達の残した歴史を見つめなおすきっかけを提供する事が出来、特に未来を担う子供達の郷土愛が育つことを期待する。

2 実施期間

令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日
 (計画期間 3 年中 3 年目)

3 実施場所

大島海の見える家、大島小学校、大島中学校

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 120 人（ア＋イ）
 （内訳）企画運営に関わった人数： 20 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 100 人（イ）
 ○団 体： （団体名） 大島郷土史クラブ ， （団体名） 大島公民館
 （団体名） 大島青少年健全育成連絡協議会 ， （団体名） ぼっけ-まち会議

5 実施内容

文化財等の場所がわかる看板作成では、大島中学校に協力を求め、生徒有志に文化財等のイラストをお願いし、地図上に載せ、文字だけでなく物・場所のイメージが湧く様作成し、大島小学校・大島中学校・海の見える家の3箇所に設置した。
 HP(大島ぶらりガイド)はほぼ完成し、市長に披露した。大島公民館まつり・青少協等でも披露してきた。
 文化財等をめぐるウォーキング大会は計画書（レジメ・コース解説書・クイズ）作成・募集したが参加者少なく、開催できなかった。

6 決算額

386,811 円（うち交付金分 386,811 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	看板設置・ホームページ作成が出来、大島の文化財・自然景観を簡単に知ることが出来、見る事が出来るようになった。活動を通じ小・中学校との距離が非常に近くなり、お互いの協力関係のきっかけが出来ました。
【課題】	より多くの人々にホームページの存在を知っていただき、より多くの方々に大島の文化財・自然景観を知っていただくような活動を、継続的にどの様に行って行くかが今後の課題です。

様式第25号の1（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 大島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	”大島再発見”子どもたちに伝えたい大島の文化財と自然景観

【収入の部】 (単位：円)

区 分	予算額 (Ⅰ)	決算額 (Ⅱ)	差引	摘 要
市交付金	① 495,597	② 386,408	109,189	当該年度分
	⑤ 403	⑥ 403	0	前年度からの繰越分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	496,000	386,811	109,189	

【支出の部】 (単位：円)

区 分	予算額	決算額	差引	摘 要
報償費	20,000	0	20,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費	20,000	28,000	△ 8,000	”
需用費	61,000	1,079	59,921	”
役員費	1,000	920	80	”
使用料及び賃借料	40,000	3,602	36,398	”
備品購入費		0	0	”
委託料	354,000	353,210	790	”
0		0	0	”
			0	
計	496,000	386,811	109,189	決算額のうち市交付金分 ②+⑥ 386,811

< 交付金内訳 >

		当該年度分		前年度からの繰越分	
予算	(Ⅰ)のうち	①	495,597	⑤	403
決算	(Ⅱ)のうち	②	386,408	⑥	403
余剰金		①-②	109,189	⑤-⑥	0
	うち次年度繰越額	③	0	(次年度繰越額)	
	うち返還額	④	109,189		

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 ”大島再発見”子どもたちに伝えたい大島の文化財と自然景観

費目 旅費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	3	20	HP作成者	ガソリン代 (7回分)	28,000	28,000
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						28,000	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 "大島再発見" 子どもたちに伝えたい大島の文化財と自然景観

費目 需用費

No. 1 ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	3	3	山陽事務機(株)	コピー用紙 (運営費より付け替え)	1,079	1,079
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						1,079	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 "大島再発見"子どもたちに伝えたい大島の文化財と自然景観

費目	役務費	手数料
----	-----	-----

No. 1 ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	11	8	中国銀行	振込み手数料	550	550
2	5	11	9	笠岡大島郵便局	冊子送料	370	920
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						920	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 "大島再発見"子どもたちに伝えたい大島の文化財と自然景観

費目 使用料及び賃借料

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	3	26	芙蓉総合リース(株)	コピー機リース料付替え分	3,602	3,602
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						3,602	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 "大島再発見"子どもたちに伝えたい大島の文化財と自然景観

費目 委託料

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	3	2	(株)ポップヤマシタ	屋外用看板	353,210	353,210
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						353,210	

自己評価シート

(令和 5 年度)

No. 1

協議会名	大島まちづくり協議会
活動名	”大島再発見”子どもたちに伝えたい大島の文化財と自然景観

活動目的	大島の文化財資源・観光資源を守り、後世に残してゆく。
実施内容	文化財等の場所がわかる看板作成では、大島中学校に協力を求め、生徒有志に文化財等のイラストをお願いし、地図上に載せ、文字だけでなく物・場所のイメージが湧く様作成し、大島小学校・大島中学校・海に見える家の3箇所に設置した。 HP(大島ぶらりガイド)はほぼ完成し、市長に披露した。大島公民館まつり・青少協等でも披露してきた。 文化財等をめぐるウォーキング大会は計画書(レジメ・コース解説書・クイズ)作成・募集したが参加者少なく、開催できなかった。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみならず共有することができたか。	2
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	2
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	2
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	2
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	2
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	2
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果 看板設置・ホームページ作成が出来、大島の文化財・自然景観を簡単に知ることが出来、見る事が出来るようになった。活動を通じ小・中学校との距離が非常に近くなり、お互いの協力関係のきっかけが出来ました。	現状と課題 より多くの人々にホームページの存在を知っていただき、より多くの方々に大島の文化財・自然景観を知っていただくような活動を、継続的にどの様に行っていくかが今後の課題です。
---	---

今後の活動の方向性・改善策

みんなが気軽にスマホ片手にウォーキング出来る様にホームページへのタイムリーな情報発信を行い、チラシだけでなく、小・中学校に協力をお願いし、ときにはウォーキング大会を開催する。

様式第24号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 大島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	クラフト・竹細工・定置網見学体験ツアー
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	地域住民との交流を促進し、関係人口を増やす。
【効果】	地域の活性化が図られ地域力が上がる。

2 実施期間

令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31 日
 (計画期間 年中 年目)

3 実施場所

NPO法人海の校舎大東小、えびすや、大島公民館、大島海に見える家

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 610 人（ア+イ）
 （内訳）企画運営に関わった人数： 160 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 450 人（イ）
 ○団体： (団体名) NPO法人海の校舎大東小, (団体名) 大島公民館
 (団体名), (団体名)

5 実施内容

クラフト教室は、定期的(4回/月)に実施できている。海の市での展示販売・ワークショップ、大島公民館の公民館祭での展示、潮風マルシェでの販売等で活動の周知を図っている。今年度はクラフトバッグだけでなく、兜・お雛様も作成し展示紹介した。息抜きとして干支のはりえも行った。
 竹細工・定置網見学ツアーは手が付けられなかった。

6 決算額

298,850 円（うち交付金分 183,250 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	クラフト教室は少しマンネリ感があり、生徒数が一時的に減少してきたので、バッグ以外の物に取り組んで見たら生徒数も回復してきた。
【課題】	クラフト教室では、マンネリにならない様、バッグ以外の作品の提案が必要である。 竹細工・定置網見学ツアーについては、やり方等根本からの見直しが必要だと思い、一旦休止としたい。

様式第25号（第5条関係）

令和5年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 大島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	クラフト・竹細工・定置網見学体験ツアー

【収入の部】

（単位：円）

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 207,000	183,250	23,750	当該年度分
その他収入	154,000	115,600	38,400	
クラフト教室授業料	129,500	115,600	13,900	
竹細工教室授業料	4,500	0	4,500	
定置網見学科	20,000	0	20,000	
計	361,000	298,850	62,150	

【支出の部】

（単位：円）

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	160,000	137,000	23,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	154,000	161,850	△7,850	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料	47,000	0	47,000	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	361,000	298,850	62,150	決算額のうち市交付金分 ② <u>183,250</u>

市交付金の余剰金 ①－② 23,750 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 23,750 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 クラフト・竹細工・定置網見学体験ツアー

費目	需用費	消耗品費
----	-----	------

No. **1** ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	6	16	講師1	クラフトテープ代	40,568	40,568
2	5	10	13	講師1	クラフトテープ代	38,474	79,042
3	5	11	10	ユ-ホー	クラフト用ボンド	1,250	80,292
4	5	11	14	ユ-ホー	灯油	1,836	82,128
5	6	1	5	講師1	ペーパーカップ	1,447	83,575
6	6	1	18	西井康江	クラフトテープ代	31,066	114,641
7	6	1	27	ユ-ホー	灯油	1,836	116,477
8	6	2	14	ニシナ	ウエットティッシュ	1,419	117,896
9	6	3	6	ユ-ホー	クラフト用ボンド	2,562	120,458
10	6	3	13	講師1	クラフトテープ代	25,495	145,953
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						145,953	

自己評価シート

(令和 5 年度)

No. 2

協議会名	大島まちづくり協議会
活動名	クラフト・竹細工・定置網見学体験ツアー

活動目的	地域住民との交流を促進し、関係人口を増やす。
実施内容	クラフト教室は、定期的(4回/月)に実施できている。海の市での展示販売・ワークショップ、大島公民館の公民館祭での展示、潮風マルシェでの販売等で活動の周知を図っている。今年度はクラフトバッグだけでなく、兜・お雛様も作成し展示紹介した。息抜きとして干支のはりえも行った。 竹細工・定置網見学ツアーは手が付けられなかった。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動の目的・効果を地域のみならず共有することができたか。	2
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	2
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	2
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	2
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進, 地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	2
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	2
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	2
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果 クラフト教室は少しマンネリ感があり、生徒数が一時的に減少してきたので、バッグ以外の物に取り組んで見たら生徒数も回復してきた。	現状と課題 クラフト教室では、マンネリにならない様、バッグ以外の作品の提案が必要である。 竹細工・定置網見学ツアーについては、やり方等根本からの見直しが必要だと思い、一旦休止としたい。
--	---

今後の活動の方向性・改善策 教室を進めていく中、定期的にクラフトバッグ以外の題材を取り入れて、マンネリ化しない様進めていければと思っている。
--

様式第24号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 大島まちづくり協議会

活動No	3
活動名	地域間交流促進事業
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	大島地区は市内の他地域に比べ面積が広く、人口減少・少子高齢化もあり、地域間交流がなかなか進んでいない。また、新型コロナウイルスによるイベント自粛等の影響により住民同士の交流も減少したことで、共助を支えるつながりが弱まっている。そこで、共通の体験が持てるような交流の場を設定し、近隣の住民間の交流だけではなく、新たなつながり作りのきっかけを目的とした事業を行う。
【効果】	参加者が新たなつながりづくりのきっかけ等を持つことで、日常的に地域間交流が活性化すれば、地域住民の相互扶助の強化や地域の自治力を高めることにつながり、持続可能な地域づくりに寄与する事が期待できる。

2 実施期間

令和 5 年 6 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日
 (計画期間 年中 年目)

3 実施場所

大島海に見える家、海の校舎（講堂）

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 220 人（ア＋イ）
 （内訳）企画運営に関わった人数： 20 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 200 人（イ）

○団体： (団体名) NPO法人海の校舎大東小, (団体名)
 (団体名), (団体名)

5 実施内容

よっちゃれにまち協ひまわり連として参加した。天王宮の夏祭りは神事のみで参加出来なかったが、八幡様の秋祭りにはNPO大島まち協と参画・出店し、祭りを盛り上げた。又、旧大東小講堂で音楽祭(思い出コンサート)を開催し、大勢の方と一緒に歌を歌い、語らい、大いに楽しんで頂いた。

6 決算額

294,835 円（うち交付金分 294,835 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	よっちゃれ参加は、今回賞金が出る事もあって、何としても優勝するんだと言う強い気持ちで練習時より気合が入っており、頑張った結果、賞金ゲットとなった。八幡様秋祭りは、あまりいい天気ではなかったにも拘らず地元の方多数お参りし、お店は大変盛況だった。音楽祭(思い出コンサート)は、約80名の参加を頂き、”楽しかった・有難う”の一言で、大成功だと思います。
【課題】	よっちゃれ参加者は年々減少しており、参加者増の手立てを考えなければならない。又、音楽祭の様な個別イベントを企画・開催し、交流の場を設定する事ではかなり労力がかかる。その為若い人員が必要だが現状はいない事が課題。一方、持続可能な交流の場となる様な事業を考える事も必要。

様式第25号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 大島まちづくり協議会

活動No	3
活動名	地域間交流促進事業

【収入の部】

（単位：円）

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 295,000	294,835	165	当該年度分
その他収入	0	0	0	
自己資金			0	
			0	
			0	
計	295,000	294,835	165	

【支出の部】

（単位：円）

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	45,000	40,000	5,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費	30,000	30,000	0	〃
需用費	61,000	63,735	△ 2,735	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料	6,000	0	6,000	〃
備品購入費		0	0	〃
参加費	15,000	12,600	2,400	〃
委託料	138,000	148,500	△ 10,500	〃
			0	
			0	
計	295,000	294,835	165	決算額のうち市交付金分 ② <u>294,835</u>

市交付金の余剰金 ①－② 165 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 165 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 地域間交流促進事業

費目 報償費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	10	29	出演者	出演料	30,000	30,000
2	5	10	29	思い出コンサート実行委員会	写真撮影お礼	10,000	40,000
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						40,000	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 地域間交流促進事業

費目 旅費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	10	29	思い出コンサート実行委員会	徳島一笠岡往復 (3人分)	30,000	30,000
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						30,000	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 地域間交流促進事業

費目 **参加費**

No. **1**

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	9	6	笠岡よっぢゃれの夜実行委員会	参加費	12,600	12,600
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						12,600	

自己評価シート

(令和 5 年度)

No. 3

協議会名	大島まちづくり協議会
活動名	地域間交流促進事業

活動目的	大島地区は市内の他地域に比べ面積が広く、人口減少・少子高齢化もあり、地域間交流がなかなか進んでいない。また、新型コロナウイルスによるイベント自粛等の影響により住民同士の交流も減少したことで、共助を支えるつながりが弱まっている。そこで、共通の体験が持てるような交流の場を設定し、近隣の住民間の交流だけではなく、新たなつながり作りのきっかけを目的とした事業を行う。
実施内容	よっちゃれにまち協ひまわり連として参加した。天王宮の夏祭りは神事のみで参加出来なかったが、八幡様の秋祭りにはNPO大島まち協と参画・出店し、祭りを盛り上げた。又、旧大東小講堂で音楽祭(思い出コンサート)を開催し、大勢の方と一緒に歌を歌い、語らい、大いに楽しんで頂いた。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動の目的・効果を地域のみならず共有することができたか。	2
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	2
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	2
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	2
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	2
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	2
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	2
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
よっちゃれ参加は、今回賞金が出る事もあって、何としても優勝するんだという強い気持ちで練習時より気合が入っており、頑張った結果、賞金ゲットとなった。八幡様秋祭りは、あまりいい天気ではなかったにも拘らず地元の方多数お参りし、お店は大変盛況だった。音楽祭(思い出コンサート)は、約80名の参加を頂き、「楽しかった・有難う」の一言で、大成功だと思います。	よっちゃれ参加者は年々減少しており、参加者増の手立てを考えなければならない。又、音楽祭の様な個別イベントを企画・開催し、交流の場を設定する事ではかなり労力がかかる。その為若い人員が必要だが現状はいいない事が課題。一方、持続可能な交流の場となる様な事業を考える事も必要。

今後の活動の方向性・改善策

理事を含めた役員全員で活動内容を共有し、実行してゆく事が必要だと思う。